

平成26年度当初予算は、経済再生に向けた取り組みをはじめ、市民福祉・環境・教育政策について中・長期的な視点を持って編成されており、一般会計当初予算は、前年度比11.6%増の128億4,434万2千円となっております。これに国の補正予算によって、平成25年度3月補正予算などに前倒しした公共事業費約7億5,100万円を加えた一体的な予算額は約135億9,500万円となり、過去最大であった平成9年度当初予算を大きく上回る最大規模の積極型予算となっています。

このような平成26年度当初予算について、市議会ではどのような審議がされたのか。特徴的な内容を「特集」しました。

特集1 白山平泉寺全国発信プロジェクト計画について

白山平泉寺全国発信プロジェクト計画とは、福井県のふるさと創造プロジェクト事業を活用し、平泉寺が持つ様々な魅力を全国に情報発信するために、観光誘客PRを目的として事業展開するソフト事業と、精進坂前周辺等の拠点整備を行うハード事業からなっています。

この事業は、平成24年度から平成26年度までの3カ年事業で、その予算総額は1億7,180万円とされています。

精進坂前の誘客拠点整備事業は、既存の老朽化した物販施設を取り壊し、新規の物販施設を建設。土蔵を改修し、観光案内等の拠点として整備することとされています。また、参道（大門）景観整備事業として、側溝整備や電柱移設、街灯設置、高質化舗装などを行うとしています。

東尋坊跡の交流拠点整備事業では、土蔵を改修し、交流・情報発信施設として整備することで交流人口の増加を目指すとしています。

白山平泉寺歴史探遊館「まほろば」北側多目的広場の整備や埋蔵文化財調査なども計画されています。

また、ソフト事業では、平泉寺ホームページ、PR動画や観光パンフレットの作成、インターネット等のIT技術の活用で平泉寺を全国に広く発信するとしています。これまで平泉寺を訪れる観光客の中心であった60歳以上の世代とともに、若い年齢層や女性を誘客のターゲットにしたいとしています。

予算審議の中では、入札で出た差額は他に流用しないこと、事業費が当初より2,000万円も増えるのは問題であるなど意見が出されました。



精進坂前物販施設

特集2 「観光戦略推進事業」について

8月中の2週間を恐竜ウィークと銘打ち、ダイノソニックに加えて、まちなかでダイノアライブを開催し、恐竜博物館からまちなかへの誘客、そして今後の観光経済活性を促進するとのことです。

●「ダイノアライブ」(予算500万円)

市民会館で2週間にわたり1公演30分程度の動く恐竜ショーを1日6回程度行う。2種類くらいの公演を予定するなど、1回見た人が次の回も見たいと思わせ、まちなかに滞在する時間を長めに設けるなどの仕掛けをおこなう。集客人数は恐竜博物館観光客の2割、累計2万名を目標。

●「ダイノソニック」(予算500万円)

昨年開催したダイノソニックの第2回。新しい勝山市のファン層の構築や、全国にブログ等のウェブから勝山市の魅力を発信していく。

議会からは、単発のイベントでなく今後につながる観光戦略、観光産業につながるようにとの指摘がされました。また都市圏の方々に勝山市に来ていただくだけでなく、市内の中高校生も楽しめる工夫をとる意見がありました。



昨年の「ダイノソニック」